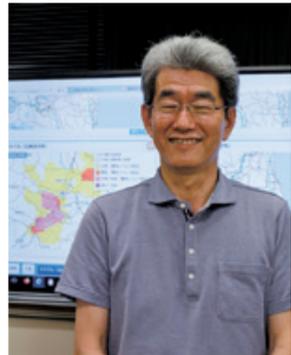


**防災気象情報を提供しています
情報を活用し命を守る行動につなげてください**



福島地方気象台
防災管理官
鹿野 義明 さん

気象庁・気象台では、気象の監視と予測を行い、注意報・警報・特別警報を含む防災気象情報を提供しています。

近年、地球温暖化が世界的な課題となつていますが、各地の平均気温も上昇傾向にあります。

気温が高くなると、空気を含む水蒸気量が増大します。水を貯める袋が大きくなった状態ですので、その袋がポンと割れた時には、大量の雨が降ることになります。

福島県内でも、非常に激しい雨の降る回数が増えています。「今までなかったから今回も同じだろう」「隣も避難していないから大丈夫だろう」と思わずに、気象情報を確認して不安を感じたら、避難は明るいうちに。命を守る行動を心掛けてほしいと思います。

ます。国内でも大雨の規模が大きくなる傾向にあり、国土交通省も災害の激甚化を報告しています。

さまざまな情報が活用できます

「防災気象情報」「避難情報」

●飯舘村災害用メール配信サービス

iitate@entry.mail-dpt.jp

※このアドレスに空メールを送信すると本登録用のメールが送信されます。



●国土交通省防災情報提供センター

<https://www.mlit.go.jp/saigai/bosajoho/>



●気象庁ホームページ

<https://www.jma.go.jp/>

※気象庁ホームページ内「キキクル」は雨による災害の危険度を地図上に表示します。



早目の「避難」には事前の備えが大切です

ココロの防災スイッチはONになりましたか

ハザードマップで危険箇所を把握、避難行動を想定し、防災気象情報へのアクセスを確認しました。「いざ」という時に備えて、持ち出し品や備蓄についても確認しましょう。

『飯舘村防災ハザードマップ』冊子の防災グッズ情報をぜひご覧ください

令和3年5月20日に変更されました
「災害避難情報」を確認!

自分がとるべき避難行動を想定しよう

村などが住民避難情報と合わせて5段階の警戒レベルを発表します。災害が近づいた時は村や県からの情報に注意しましょう。

5段階の避難情報

警戒レベル	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5
出される情報	早期注意情報 気象庁が発表	大雨注意報や洪水注意報 気象庁が発表	高齢者等避難 市町村が発令	避難指示 市町村が発令	緊急安全確保 市町村が発令
避難行動	災害への心構えを高める	ハザードマップなどで避難行動を確認	避難に時間を要する人は避難する	速やかに安全な場所に避難する	災害発生

危険な場所から
高齢者は避難!

危険な場所から
全員避難!!

- 警戒レベル5はすでに災害が発生している状況です。命を守るための最善の行動を。警戒レベル5は、村が災害発生を把握できた場合に可能な範囲で出す情報です。必ず出される情報ではありません。
- 豪雨時の屋外避難は危険です。車の移動も控えましょう。早目に安全な場所へ避難するか、自宅の2階などで可能な限り安全を確保してください。

飯舘村の避難情報

『飯舘村災害用メール』『イタネちゃんお知らせアプリ』に登録している方は、登録アドレスへの通知やアプリ内のお知らせで確認できます。また、村を含む各市町村の避難情報は、テレビやラジオのニュースや、テレビの画面に表示される災害情報テロップ、データ放送などでも確認できます。荒天時は、身の安全を確保しながら、状況に応じた方法で、正確な情報を収集するようにしましょう。

感染症対策と避難

危険が差し迫っている場合は、ためらわずに早目に避難をすることが重要です。その中で、密集によるウイルス感染のリスクを低減するには、「分散避難」が有効です。安全な場所に住んでいる親戚・知人宅、ホテル・旅館に避難することも、あらかじめ考えておきましょう。避難する際には、できるだけ、マスク・消毒液・体温計・スリッパなどを持参し、感染症対策を行いましょ。普段からどう行動するかを考え、準備しておくことが大切です。